

# 9

2017

September

# ガバナー一月信

## VOL. 3

2017-18 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560

### ▼ Contents

ガバナーメッセージ	1
会員増強セミナー報告	2
ロータリー防減災セミナーを終えて	3
青少年交換学生帰国報告	5
新会員座談会	7
新入会員紹介	23
9月の予定	24
会員数及び出席報告	25
コーディネーターニュース	26
ハイライトよねやま	27
文庫通信	29



ロータリー：  
変化をもたらす

国際ロータリー 第2560地区 2017-2018年度



新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-mail: k.shinbo@rid2560niigata.jp



## 「基本的教育と識字率向上月間によせて」

2017-2018 年度 ガバナー  
新保清久 (新潟万代R C)

新潟県内では、8月に入りまして、7月までの焼けるような暑さから一転して、大変涼しい夏になってしまいました。気候の変動は、予想できませんがどうかご自愛ください。

さて、9月は、基本的教育と識字率向上に取り組む月間です。

ロータリーの目標は、地域社会が自らの力で基本的教育と読み書き能力の向上に取り組み、教育における男女格差を改善し、成人識字率を向上していけるよう支援を提供することです。

日本においては、識字率はほぼ100%であります。今日の世界には、基本的な識字力がない青少年が1億300万人もおり、その60%が女性であるといわれております。

学校に通っていない初等教育期の推定50%が紛争の影響下にある地域に住んでいます。

パキスタンのマララ・ユスフザイさんのノーベル平和賞の授賞式での講演を思い出します。彼女は、10歳のときにタリバン勢力に通学していた学校を閉鎖され、15歳のときに武装勢力から頭部と首に2発の銃弾を受けましたが、一命をとりとめました。

《ある日突然、美しい地元がテロリズムの地と化して教育は「権利」から「犯罪」になりました。400以上の学校が破壊され、女性達はむちで打たれました。人々が殺されました。そして私達の素敵な夢は悪夢へと変わったのです。

世界は、基本教育だけで満足していいわけではありません。指導者達は、すべての子供に対し、無料で質の高い初等、中等教育を約束できるようにこの機会を逃がしてはなりません。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん。なぜ「強い」といわれる国々は、戦争を生み出す力があるのに、平和をもたらすことにかけては弱いのでしょうか。なぜ銃を与えることはとても簡単なのに本を与えることはとても難しいのでしょうか。

なぜ戦車を作ることはとても簡単で、学校を建てることはとても難しいのでしょうか。

現代に暮らす中で、私達は皆不可能なことはないと信じています。45年前に人類は、月に到達し、恐らく火星にもまもなく降り立つでしょう。それならば、この21世紀には、全ての子供達に質の高い教育を与えられなければなりません。

男の子や女の子が子供時代を工場で過すのも、女の子が幼いうちに強制的に結婚させられることも、戦争で子供の命が失われることも、子供が学校に通えないこともこれで終わりにしましょう。ここからともに「終わり」を始めましょう。》

世界中にいろんなネットワークを持つロータリーは、教育の男女差別、識字率の向上、教育機会の拡大に貢献できると信じています。



国際ロータリー第2560地区 2017-18年度

「会員増強セミナー 報告」

会員増強委員会委員  
角南 邦彦 (新潟南RC)

7月29日(土) 国際ロータリー第2560地区 2017-18年度会員増強セミナーが開催されました。新保清久ガバナー挨拶、山本和則地区会員増強委員長の挨拶で幕を開け、前半は会員増強セミナーの講演を行い、講師には第1・第2・第3ゾーン地域別会員増強計画プロジェクトリーダーの水野功様をお願いしました。水野様は東京飛火野RCに所属し、2015-16年度2750地区のガバナー経験者で、当地区山本PGと同期ガバナーです。



水野功講師

講演は前半40分、後半40分の80分で行われ、第1～3ゾーン会員増強の現状、大都市圏ロータリアン会員密度、行政人口1万人当たりロータリアン数、地区別女性会員割合、RID2750の事例等々、中身の濃い講演が行われました。



講演後に質疑応答を行い、各ロータリーの会員増強委員長から活発な質疑がなされました。その後「各分区の現状と今後の意気込み」と題し、第一分区から第七分区のガバナー補佐より各分区の報告と今後の意気込みを熱く語って頂きました。

講演終了後には、第14回ロータリー韓日親善会議の呼びかけを佐々木昌敏PGが行い、最後に新保清久ガバナーより全体にわたる講評が行われ、盛会のうちに会員増強セミナーの幕を閉じました。



その後、懇親会が行われ、新保ガバナーよりご挨拶を戴いた後、乾杯は橋本栄一郎第2分区ガバナー補佐より頂きました。宴会は和気藹々のうちに進み、中締めを高橋主計地区会員増強委員が行い、全てのスケジュールを無事に終えることが出来ました。





## 「ロータリー防減災セミナーを終えて」

ロータリー地域協働ネットワークセンター長  
鈴木 重孝 (長岡RC)

今年も年度のスタート早々に恒例のロータリー防減災セミナーが8月5日(土)長岡震災アーカイブセンターを会場に「地域と共に…備えよ、常に」の開催テーマのもとに、ロータリアン 38 名、連携諸団体 15 名の参加をいただき、下記の次第に沿って盛会裏の内に開催されました。

13:30 開会の挨拶

新保清久 ガバナー

第1部 ロータリー地域協働ネットワークセンターの役割

鈴木重孝センター長

第2部 連携団体の活動紹介

- |                                 |          |         |
|---------------------------------|----------|---------|
| ・ (公社) 中越防災安全推進機構地域防災力センター      | センター長    | 諸橋 和行 様 |
| ・ 防衛省自衛隊地方協力本部                  | 長岡出張所長   | 橋場 高男 様 |
| ・ 陸上自衛隊高田駐屯地第二普通科               | 連隊長      | 二宮 充史 様 |
| ・ (公社) 新潟県隊友会                   | 事務局長     | 熊倉 光生 様 |
| ・ 日本ボーイスカウト新潟連盟                 | 県連理事長    | 南雲 重孝 様 |
| ・ 〃                             | 県連理事     | 富山 修一 様 |
| ・ (公社) にいがた被害者支援センター            | 専務理事     | 稲餅 武雄 様 |
| ・ 〃                             | ファンドレーザー | 藤巻 強生 様 |
| ・ (社福) 新潟いのちの電話                 | 理事長      | 及川 紀久雄様 |
| ・ (公社) 日本青年会議所、北陸信越地区新潟ブロック協議会長 |          | 石黒 良行 様 |
| ・ R I 2560 地区ローターアクト            | 地区代表     | 小日向 翼 様 |

16:20 意見交換

16:50 講評

新保清久 ガバナー

17:00 閉会の挨拶

高橋 悟 副センター長





特筆すべきは、今回から J C I（日本青年会議所）北陸信越ブロック協議会の代表をはじめ 5 名の青年会議所の皆様が参加、J C としてこれを契機に積極的な関係強化を図りたいとの発言をいただき、ロータリーへの理解を広げる絶好の機会となりました。

これで、地区ロータリーと地区 J C の直接ルートの門戸が開いたわけです。



また、参加ロータリアンはもとより、自衛隊関係や警察関係、ボーイスカウトなど、設立当初から親交を深めてまいりました連携団体各位とは、主に以下の点で認識共有いたしました。

- ★ 平時から顔が見える関係づくりは極めて大切、今後もより綿密な連携を深めて行きたい。
- ★ それぞれの得意分野をより効率よく具現する為に、一堂に会しての意見交換の機会はとても大切、意義あるセミナーだった、今後もより一層の連携強化を進めたい。
- ★ 安全安心の地域づくりのためにという共通認識のもとに、これからも力を合わせて行きたい。
- ★ アクト、J C 共に次世代を担う人材の宝庫、ロータリーとの絆を強固にして地域に貢献しよう。

センター設立から 6 年、これまでの積み重ねの意義を実感できたセミナーでした。

センターの立ち位置は、災害対応だけでなくむしろ日常平時の地域コミュニティの中にロータリーイズムが如何なく発揮されるためのシンクタンクの役割を担って行くことを目標としています。このような機会を通じて、よりロータリーへの理解と信頼が深められ、ひいては会員増強につながることを願って止みません。

折からの猛暑の中、それぞれご多用の中、差し繰ってご参加いただきました皆様に、衷心より敬意と感謝を申し上げ、報告といたします。

## 「青少年交換学生帰国報告」(長期交換)

池田 海里 (糸魚川中央 RC 推薦)

### アメリカ・オレゴン州



これから私の帰国報告をさせていただきたいと思います。まず、改めて私はアメリカのオレゴン州というところに、去年の8月から今年の7月まで約1年間派遣させていただきました池田海里です。

はじめに、オレゴン州について簡単に紹介したいと思います。私が行ったオレゴン州はアメリカの西側に位置し、緯度的には北海道と同じくらいです。オレゴンに行って驚いたことは日本のように四季があり、気候がとても日本と似ていたことです。春には様々なところで桜が咲き、夏は湿気は日本よりありませんが、カラッと暑く、秋には紅葉し、冬にはたくさんの雪が降ります。

私はこの1年、たくさんの経験をしました。しかし今日は時間があまりありませんので、特に思い出に残っていることを紹介しつつ、アメリカでどのような生活をしてきたのかお話ししたいと思います。まず、最初の3ヶ月。私がアメリカに着いた時、向こうの学校は夏休みということもあり、到着して落ち着く間も無く、ホストファミリーとキャンプへ行ったりホストシスターの友達とたくさん遊んだ覚えがあります。新しい体験をどんどんして、とても刺激的だった一方、周りの人が何を言っているのか聞き取るのに必死で、自分で意見を言うなんてことは、なかなかできませんでした。学校も始まり、心



の中では不安がたくさんありました。しかし、そんな中、心の支えになったのはオレゴンで出会った他の交換留学生たちです。英語が上手い人もそうでない人も、お互い母国を離れてアメリカに来ているということは同じで、理解できる部分がたくさんありました。また、これだけたくさんの人が集まると、文化の違いとかを知ることができてとてもおもしろかったです。

次の3ヶ月。

アメリカでの生活にもかなり慣れて来ていました。学校の授業にも慣れ、次は英語で自分の意見をしっかり言えるように頑張っていた時期です。私はバレーボール部に所属していたのですが、それが終わってしまい、毎日の楽しみがなくなってしまったことを覚えています。しかし、その代わりに、クリスマスというとても楽しい時期がやって来ました。私のホストファミリーの家ではかなり盛大にクリスマスを祝いました。

ホストシスターとクリスマスツリーを飾ったり、雪だるまを作ったり、また、私たちが所属していた合唱部の活動も活発になり、たくさんのお客さんへ行き、クリスマスソングを歌いました。





2月から春休みのある4月はたくさんの行事があり、あっという間に過ぎて行きました。この頃になると学校にもたくさんの友達ができ、かなり充実した学校生活を過ごしていました。廊下ですれ違うたびに声をかけてくれる人もたくさんいて、私はアメリカで本当にいい友達を作れたなあと感じていました。

そして、春休みには、合唱部でカリフォルニアのディズニーランドに行きそこで歌いました。交通費や宿泊費はそれまでにたくさんのボランティア活動をしたりお手伝いをしてお金を集めたので、実質的にはタダでディズニーに行くことができました。この1年を通してかなり合唱部の活動があったので、ここで友達になった人は大事な人ばかりです。



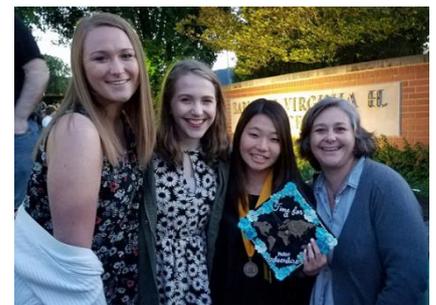
最後の4ヶ月はただただあっという間でした。ここまできると、もうアメリカでの生活には完全に慣れ、帰国まで楽しいことは全山やり尽くして帰ろうと思っていました。私はテニス部に所属して



いました。そこで、それまではあまり仲の良くなかったドイツからの留学生とすごく親しい仲になりました。また、プロムというダンスパーティーがありました。パーティー自体より、その前に友達と準備をしたり、綺麗な写真を撮りに行ったことが楽しかったです。

そして、高校の卒業式。この濃い1年間を過ごした高校を卒業すると思うと、4年間授業を受けていたわけではないのに、本当に卒業している気分になりました。そして、学校を卒業してから帰国まではたくさんの友達と遊び、最後のお別れをしました。

1年間は長いようで本当にあっという間でした。今こっちに帰って来て思うと向こうにいた期間がまだ半年くらいだった気すらします。異国の地において大変だったことはもちろんたくさんありました。しかし、それ以上に素晴らしい経験をたくさんして来ました。



この1年を通して私自身、自分が成長したなど感じる事がたくさんあります。まず、自分に自信がつけました。また、新しいことに挑戦する勇気ができ、広い視野で世界を見ることができるようになりました。また、これからやりたいことができました。もちろん語学力はかなり向上しました。今後も英語に力を入れて行きたいです。そして、異国に自分の居場所ができたことがよかったです。

最後に、この素晴らしい機会を与えてくださった、ロータリーの皆様ありがとうございます。この1年は本当にかげがえのないものになりました。

## 【 月信3-4号(9-10月号)特別企画 新会員座談会 】



日時:2017年8月19日(土)12:00~14:00

場所:新保ガバナー事務所

参加者:丹治芳子地区幹事、千田芳資筆頭副幹事、  
長谷川淳一広報担当副幹事  
各分区推薦会員(敬称略)

分区	氏名	RC	入会年月日	職業分類	ロータリー一歴
第1分区	小野 和成	中条胎内	2015年4月3日	産業廃棄物運搬処理業	2年4ヶ月
第2分区	熊倉 正志	新潟万代	2016年7月4日	総合建築業	1年1ヶ月
第3分区	市川 進一	新津	2014年8月27日	学校教育	2年11ヶ月
第4分区	木村 譲	三条南	2014年1月6日	IT関連事業	3年7ヶ月
第5分区	西山 孝行	柏崎東	2016年5月26日	金属部品加工	1年2ヶ月
第6分区	小野塚 徹	雪国魚沼	2017年1月16日	管工事業	0年7ヶ月
第7分区	建部 進	糸魚川	2015年7月2日	精油製品販売	2年1ヶ月

### 丹治地区幹事

どうも皆様、遠いところからありがとうございました。

新潟市は今朝は砂降りで大変だったんですけども、

本当に、足元の悪い中、ありがとうございます。

私が地区幹事の丹治と申します。よろしく願いいたします。

### 千田副幹事

筆頭副幹事をやらせていただけてます千田と言います。

よろしく願いいたします。

### 長谷川副幹事

広報担当の長谷川と申します。よろしく願いします。



丹治 地区幹事



千田 筆頭副幹事



長谷川 広報担当副幹事

### 丹治地区幹事

それではこれから自己紹介に入らせてもらいますが、その前になぜこのような会合を設けたのかということにつきまして、広報担当の副幹事長谷川のほうから、ちょっと趣旨の説明をしていただきます。

### 長谷川副幹事

結構遠いところから来ていただいて早い時間から忙しい中、本当にありがとうございます。



今日は新会員座談会ということで、趣旨を簡単にご説明させていただきます。「ガバナー月信というのを皆さんご覧になったことはございますでしょうか？この「ガバナー月信」7月号から、私ども万代ロータリークラブのほうで担当させていただいてるんですが、「ガバナー月信」の内容がロータリークラブの報告事項が多い中で、開かれたロータリー、フレンドリーなロータリー」という趣旨のもと、ぜひ皆さんの生の声を対外的にも発進していきたいということで新会員の方に集まっていただきましたのでぜひご忌憚のないご意見をお話していただきたいと思っています。

### 丹治地区幹事

せっかくの機会でございますので、本当に忌憚のない意見をお聞かせいただき、地区がより良い方向に発展できるようにご協力いただければありがたいと思います。それでは改めまして、参加者の自己紹介をお願いしたいと思います。どういう理由でロータリーに入ったのか、そういうこともちょっと入れた形でのご紹介をお願いしたいと思います。

### 【各自自己紹介(略)】

### 丹治地区幹事

ありがとうございました。皆様方の自己紹介をいただいたわけですが、これから自由闊達にいろんな意見を交わしていただきたいと思っています。本当に言いたいことを言いあう会に。自由に発言をしていただきたいと思っています。私のほうからいくつか、「こういうことについて、どうお考えでしたか？」っていうのを出していききたいと思いますので、自由にご発言ください。

まず最初、ロータリーって、どんなところだと思ってましたか？  
あるいは「入らないか」って言われた時に  
ロータリーに関するイメージってどんなもんだっただでしょうか？  
これからのロータリーについてイメージって、非常に大事なんですよ。  
周りでどういうふうに使われているのか、って非常に大事ですし、  
先ほどライオンズクラブのお話が出ましたけれども、  
認知度とすれば、ライオンズのほうが高いんですよ。  
「ライオンズは知ってるけど、ロータリーって何だ？」  
って言われること多いんですよ。  
我々もプライドがありますから、  
「ロータリーのほうが先なんだよ」とかって言うんですけども。  
そこら辺も含めまして、どなたか。何か。

市川さん

じゃあ、いいですか。  
おそらくほとんどの人が「ロータリークラブ」  
っていうものを知らないと思います。  
ロータリーって聞いて、何かって言われると、

例えば、「標語みたいなものの看板を立てている人でしょう」とか、  
何かの会の時に寄付してくれる団体、とか、  
イメージはその程度で、  
あと時々ゴミ拾いとか何かやってる団体でしょ、とか、  
そのぐらいだと思いますね。  
それ以上のイメージってないと思います。

丹治地区幹事

ご自身はどう思われます？

市川さん

私は、本当のことを言うと、実態がよくわからなくて、  
一応、父親に聞いたんですよ。  
そしたら、とりあえず「歌は歌う」って言われました。(笑)  
結局、親睦団体でいろんな人と付き合う、ということだと思います。  
それで最初に歌を歌う。そういう感じですね。  
おそらく一般の方は「ロータリークラブ」って聞かれた時に、  
それは何か、って聞かれたら、わかる人あんまりいないんじゃないでしょうか。  
私の家族・親族にロータリークラブの会員がいても、  
理解してなったぐらいですから。



第3分区 市川 進一 さん

西山さん

ライオンズさんは年末になると募金とかされてたんで、

ああ、こういうのやるんだな、  
って、昔からそういうイメージがあったんですけども、  
今言われたみたいに、何をやる会か、最初本当によくわかんなかったです。  
ま、おんなじような感じって、先輩方から話は聞いてましたけども。  
本当に「どこがどう違うの？」  
っていう問いかけをしたこともありましてし、  
そういった中で、ライオンズさんは体で動いてる。  
ロータリーさんは寄付で、  
っていうふうな話のイメージで聞かせてもらったこと  
ありましたけどね。そんな感じですね。



第5分区 西山 孝行 さん

丹治地区幹事

一番入会歴のお若い、小野塚さんはいかがですか

小野塚さん

概ねそういうような感覚です。  
何をやってるかも知らずに、看板だけが目に入ってたっていうようなことで、

事業は目立たないけれども、そこに入ってる人たちっていうのは、  
地元でも目立った活躍された方、活躍されている方が入っていたんで、  
人目当てに入る団体だろうな、交流の団体だろうな、と思ってる、  
事業の成果っていうのは正直見えてなかったですね。  
ライオンズさんからも誘いがあったんですけど、  
そこは同じで、事業の成果といよりも、  
交流であったり、人目当てに入っているのかな、  
っていう感覚で見えていました。



第6分区 小野塚 徹 さん

丹治地区幹事

お金持ちの集まりだっていうイメージがありませんでしたか？

市川さん

ありますね。  
ある人はお金持ちのサロンだって言っていました。

千田副幹事

社長さん方がみなさん入ると思ってる、  
余裕があって、ヒマがあって、お金があって、っていう

## 丹治地区幹事

私もやっぱり最初は、

17年ぐらい前に、「入りませんか？」って仕事からみで誘われたんですけども、開口一番私が言ったのが、「あんなの、ヒマな旦那衆の集まりでしょう」と。そういうイメージがあって「そんな会に入ってもらえませんよ」というのが第一声だったような気がするんですね。

実際入ってみると、みんなそんな金持ちじゃないですよ。

熊倉さんなんかは、もちろん、経営陣の一員ではありますけども、オーナーさんではないですよ。

## 熊倉さん

会社からのお金がない限りはムリだろうな、と。

しかし会社として、入る必要あるな、と。

社会貢献ということを考えた場合、会社としては入るべきだね、と。

個人として私が行くか、っていうとまず行けないだろうなと思います。

あと、異業種の交流がすごく盛んだっていうイメージあって、建築会社が入ったりすると、うちも入らないといけないな、とか。



第2分区 熊倉 正志 さん

業種、会社としてという部分では、非常に重要な会だな、という認識はしてました。

あと個人的に言うと、週1回の例会くらいだから月に4回ぐらいは、きっちりやろうと思ってたんですけど、

実は今年はガバナー一年度だということで、ものすごい集まりがいっぱいありまして。これがなかなか、大変ですが、またその分も、いろんなつながりが増えて、これは価値ある活動だなとおもいましたね。

## 丹治地区幹事

熊倉さんは、新潟万代ロータリークラブですけど

新潟万代って、今約40人しかいないんですよ。

そうすると、みんな1人2役、1人3役ぐらいやらないと、

ガバナー一年度が回っていかないんですよ。

ですから、新人だろうが、旧人だろうが、

みんな借り出されまして。

一番大変だったのが、

熊倉さんじゃないか、と。

地区協っていうと、

700名近くを集めての会合ですよ。

その司会を、

とにかく「新人やれ」ってことで

抜擢というか、投げられたというか、

随分大変だったと思うんですけど、



そこらへん、どうでしたか？

熊倉さん

地区協に出たことないわけですよ。  
どんな会か全然わかんなくて。  
会場行ったら、ものすごく広い会場で、  
すごくいい経験させていただきました。  
あれを越えたら、この1年の仕事終わったな(笑)と。  
いい経験させてもらいました。

丹治地区幹事

でも、そういうことをやることによって、  
わかる部分って、ありますよね。  
ただ例会だけ出てるだけじゃなくてね。  
長谷川副幹事だって、おんなじようなものでしょ？



長谷川副幹事

はい。私も、皆さんと同じ、新人と変わらないんですけど、  
丹治地区幹事の鶴の一声で、「あなた、やりなさい」と。  
ロータリーはNOと言えないと、そこで初めて知りました。

丹治地区幹事

みんな、そんな経験なんですけど。  
なにかほかに。入る時はこう思っていたんだけど、  
入ったらイメージ違ったな、  
ご意見ないですか？  
木村さんあたり、どうですか？

木村さん

入る前は、年配の人が多くイメージがあったので、  
40代なんで、あと10年か20年後でいいのかな、と思ったんですが、  
僕が入会する時に、同じ年に卒業した青年会議所の  
同じ歳のメンバー が4、5人入って私も入ったんですが  
うちは今52名ですけど、40人ぐらいは60代とか、70代とかなんで、  
最初の時は、ホント何をしゃべればいいのか、  
とずっと考えながら懇親会に参加してました。  
これ、笑い話ですが、  
この前、こんなことがあったんだよ、っていう、「この前」の期間が、  
我々だと3年か5年前かな、と思ったんですけど、  
10年とか15年なんですよ。長さが全然違うという(笑)



第4分區 木村 讓 さん

### 丹治地区幹事

木村さんのところも、ガバナーを出されているところですけどね。  
それが10年近く前になりますからね。  
たぶん、実際入られて、  
戸惑ったこともあると思うんですよ。「えっ」と思ったこと。  
ガバナー訪問で回って一番ご高齢の人、  
90何歳っていらっしゃいました。現役で。  
例えばそういう方とのギャップって、どうしても出てくると思うんですよ。  
そこらへんのことで、「えっ」というようなことがあったら  
これからの参考にもなってくるんですけど。  
市川さん、どうですか？

### 市川さん

昔は出席率100%が当たり前と言われたんですが、  
事業主の方はたぶん可能だと思うんですが、  
私たちのような雇われは例えば昼例会に出るといっても、  
午後は仕事の時間帯に入ってるわけですよ。  
出るには仕事の時間に抜けなければいけない。  
それは本来できないことなんですよ。  
ですから、そのところが上手く理解できてないんじゃないか、  
と思ったことはあります。  
要するに勤務時間に例会が入ってることになるんですね。  
新津クラブは1か月のうち1回が昼例会にするってことで、  
随分出やすくはなったんですけども、そうでないと、  
なかなか簡単に例会に参加できないとがあります。  
それが、出て当たり前だ、という考え方と規則上出られない、っていう  
ギャップがどうもよく収まんないな、ってとこありますね。  
説明すればわかるんですけど、  
そういうところまで考えが及ばないような感じがあるんじゃないかな、  
と感じることがあります。  
雇われている立場の場合と、本当に事業主の場合とちょっと状況が違うということですね。



### 丹治地区幹事

新潟万代は、まだ24年、今年で25年目ですから、  
比較的若い、歴史の浅いクラブですから、あんまり長老だとか、  
そういう感覚あんまりないと思うんですけども、  
50年も60年もある歴史の長いクラブはホントに上の方は80代で  
カクシャクとしていらっしゃる。  
若い方は、30歳前後の方もいらっしゃる。相当なギャップと言いますか、  
ある面で、若い方はプレッシャーに感じるかもしれないし、  
年輩の方は「何にもわかってない」ということになって、そこら辺の話も聞いてくるんですけど。

### 千田副幹事

私のロータリー歴はまだ12年ほどでそんなに長くはないですが、  
ただ、その当時入った国際ロータリーや  
当時の日本のロータリークラブと今のロータリークラブを、  
比べて客観的に言うと、前よりちょっとは柔らかくはなってるんですね。  
10年とか20年前の、今いらっしゃる、古い会員の方、  
25年・30年いる長老の方っていうのは、  
その当時の「これがロータリーだ」というのが  
すごく染み付いているんです。  
今のロータリーも少しずつ角が取れてきたと思います。  
例えば前は、必ず行事に出なければいけない。  
職業を持ってなければ入れない。  
退職したら、もう辞めなければいけない、などと言われていましたが、  
今は、退職して辞めても、職がなくても、  
ロータリアンとしては入会してやっていけるわけですから、  
そういうのは少しずつ変わってきてます。  
組織の「こういう風にやりなさい」とかじゃなくて、  
「各クラブで自由にやってもいいですよ」というのに変わってきてる。  
そうすると長老の方との温度差が益々出てくるように思われます。



### 丹治地区幹事

今ちょっと、話が違ふんですけど、今、千田副幹事がおっしゃったように、  
非常にここ1・2年、RIは急激な変革を進めているわけですね。  
まず、本来は職業人でなきゃいけない、ってところがあった。  
それがもう完全に緩和されたというか、無くなってしまった。  
主婦でもいい。退職してもいい。  
とにかく、なんでもあり。  
職業は追いやられたみたいな感じで、すごく緩くなってる。  
それから、出席率を問わない。  
我々たぶん、皆さん方もすごい「出席しろよ」と言われるんですけど、  
出席率は基本的に問わない。  
それから例会日も一応毎週ですね。  
それが2回以上やればいい。  
あるいは極端なこと言えば、Eクラブですね。  
ネットでやりとりするクラブ。  
それでもいいとか、っていう。ホント大胆に変わってきてるんですけど、  
我々だと多少抵抗は感じるんですけども、  
入会歴の浅い方々っていうのは、その辺に関してどう思いますか？  
私、それを聞いてみたいんですけど、どう思いますか？

小野塚さん

私、個人的には、規律だったり、そういうのに縛られて、カチッとやるのも嫌いではなくて、年配の方々の積み重ねてきたものに下が従うっていうのも、嫌いではないものもあって、それがヤだから、っていう感覚は、あまりありません。

ただ、そういうクラブだとは思ってなくて、ロータリークラブっていうのは、もう少しラクに経営者の方々が集まるクラブだろうな、と思って入ってたんですけども、この間あった会合で、組織だったところが若干見えたりして、これが国際舞台とか、そういう所に行けば、もっと厳しい面もあるんだろうな、と感じて。

ああ、そういう面もあるんだったら良かったなと感じました。

私、青年会議所っていう所に入ってそれで、その中でも「青年会議所って、どうなの？」っていう議論はよくするんですけど。

若い人をいっぱい入れるには、好きになってもらうにはどうするんだ、っていう話になった時に、規律が厳しかったりとか、

そういったところを緩和しようじゃないか、っていう話と、やっぱり守っていきよう、っていう考えが2つあって、私は、どっちかっていうと、守っていきたいタイプだったんで、理事長やってた時は、何でもかんでもウェルカムで「気に入ってもらえればいいじゃん」って体制をとるのは、イヤだよっていうふうにやりました。

会員はあんまり増えなかったんですけど、ちょっと、私がいて何年か経った時に、方向が変わってきて、今まで会員リスト、入会候補リストになかったような人たちもバーンと挙げるようになった。

今まで入れなかった人たちも、入れるような体制をとって、入れるようにしたんですね。

そうしたら、バーンと会員が増えて、倍近くなったんですけど、組織のやっぱり入った雰囲気とか、確かにガラッと変わった。

それが怖いというか、好き嫌いもあるんですけど、で、なかなか踏み切れないでいたんですけど、それも今考えればアリだな、と思って。



丹治地区幹事

人数は増えました？会員数は？

小野塚さん

増えましたね。一番少ない時に26・7名だったのが、  
今50数名になってるんで、すごい元気も出る。

いろんなことをやれるようになったんで。

これから先の人って、残業もイヤだとか、そういった感じの雰囲気もあるんで、  
出席率が低かったり、非常にネックになるのかな。

丹治地区幹事

小野さんあたり、どうですか？

まだお若いようですけど。

小野さん

うちのクラブは、まだできて23年ぐらいですかね。  
年齢でいうと、一番若い女性で38歳で、一番高齢で74歳。  
うちのクラブは、会員満足度が100%で、驚きました。

丹治地区幹事

親睦がすごく活発なクラブなんでしょう。

小野さん

あとはゴルフ好きな人がメンバーに多いので、  
レクリエーションというか、親睦を通じて輪をつくる。  
ただ、例会とかでお客さんを紹介する時に  
失礼な紹介をしてしまった場合はやっぱり  
ピシッと叱ってくれる方もいますし。  
そういった部分でバランスが取れているとは思いますが。



第1分区 小野 和成 さん

丹治地区幹事

あなた自身は、出席率は問わないだとか、職業人でなくてもいいとか、  
そういうことについては、どういう風にお考えになりますか？

小野さん

そうですね。ちょっと正直いうと抵抗ありますね。  
やっぱり、どうしても「変化しよう」という時には必ず  
抵抗があったりとか。そういった部分はあると思う。

丹治地区幹事

ちなみに小野さんっておいくつでらっしゃいますか？

小野さん

44歳になります。

丹治地区幹事

若い世代の代表みたいな年代ですよ。  
そうすると、やっぱり定年退職はともかくとして  
全く職業を持っていない主婦の方とかが会員になるとか  
ってということについては、多少の抵抗はありますか？

小野さん

ロータリークラブって、その財源っていうか、  
寄付でいろいろ奉仕活動を行うっていうのを考えると、  
やっぱり、そういった部分で厳しいのかな、と。



丹治地区幹事

事実上はね。

小野さん

事実上は。はい。  
会員を増やすのにそうなるのは、私は抵抗を感じますね。

丹治地区幹事

私の聞いた知識によれば、  
なぜこういうふうになったか、ってことは、  
1つはロータリアンが減少してきたので、増やす、っていうこと。  
それと世界中で、ロータリーがどんどん増えていってるっていうのは、  
いわゆるアジアとかアフリカとか。  
そういったところが増えているらしいんですけども、  
そういうところはいわゆる、内線だとかテロだとか、  
いろんな問題があって、私たちがやっているように、週1回おなじ場所で、  
やってるとそこに爆弾を落とされるんですって。ホントに。  
それなりの地域の有力な方々が集まるんですから、  
固定的にやることができない、という  
そういう意味合いもあって、  
本当に例会場所はぐるぐる回るって国もある。  
そういうことからして、ネットで例会をやる、っていうことも出てきたんだ、  
っていうふうにお聞きはしたんですけど。  
日本の場合は違いますけどね。  
そういう意味合いにおいて、  
若い方のこういうことに対するお考えっていうのは、  
これからのロータリーにもものすごく方向性を左右していくと思うんで、  
特に入会年歴の浅い方のご意見をお伺いしたいんですけども。  
建部さん、どんなですか？

建部さん

実際、主婦層とか、そういうふうな人たちが、  
経済的な面からですね。ざっくばらんに言って実際そういう話は  
出ても現実的にメンバーいらっしやるかどうか、ってことですね。  
僕も入ってみて会費その他で、年間30から40万円は  
交際費がかかるわけですね。  
これは会費と、あとはニコニコ箱もあるし、  
あるいは夜の懇親会もあるし、ゴルフもあるし、  
足していくと、だいたい3~40万ぐらいかなと思ってるんですけども。  
すると、それだけの金額を出せるのかな、という。  
失礼な言い方かもしれないですけど。  
それだけ、お金がかかるということですよ。  
だから、今、糸魚川のほうを見ても、  
これまで会員だった方が、会社事業辞めたとか  
いろんなそういう形で「じゃあ個人的に」っていう形で、  
そのあと継続して入ってくれている方もいらっしやいますけれども、  
その人たちのことを考えても、年間3~40万ぐらいで  
お付き合いしていくのはキツイのかな、と思います。  
自分だったらどうか、っていうことを考えますよね。  
それだけの価値は僕はあると思うんですけどね  
古いもの、我々みんな生きてるのも、みんな親その他、  
ずっとその前からみんなつながって生きているわけなんで、  
そういうものと全く違う形で運営なり経営をしていくということは  
決して良くないことだと思うんですよ。  
理想論では主婦層でも範囲を広げて集めようとなるんですけど、  
僕は、それはどっちかというとしつこい意見だと思うんですよ。  
現実にはそうはなかなかいかないと思います。  
それよりもやっぱり何かのの関係、企業同士の関係。  
そういう関係から、みんな加入してきているわけですよ。  
まずそういうところをもっともっと声をかけてもう一回見直したほうが、  
素晴らしい方が入ってきてくれるんじゃないかな、と。



第7分区 建部 進 さん

丹治地区幹事

今の建部さんのお話で

現実的に主婦層なんかに入ってきてもらうには、  
現実的にムリがある、っていうことをおっしゃってもらったわけですけど、  
我々古い年代は入った時に、ロータリーっていうのは、職業を通じて奉仕する。  
いわゆる職業奉仕っていうのを徹底的に叩き込まれたんですよ。  
それが、ライオンズと違うんだよ、と。  
今あんまり、ライオンズとロータリーの線はなくなったんですけども、

職業を通じて社会に奉仕する。

一人ひとりの力が集まって、ロータリーの奉仕につながるんだ。  
っていうふうに習ったんですよね。

で、ライオンズは、そうじゃなくて、最初から団体の力で、  
お金をバツと集めて、バツと行動する、と。

簡単に言えば、ロータリーの個人奉仕の概念に、  
合わなかった人たちがロータリーから出て、  
ライオンズを創った、っていうふうに習ったんですけれど、

そういうことが頭に刷り込まれているので、  
主婦も職業であるかどうかはまた議論のあるところなんですけども。  
非常に抵抗感っていうのはあるんですけど。



丹治地区幹事

それでは、Eクラブってありますよね。  
そんなものに関して、それこそ、IT 関連ということで、  
どんなふうに思われますか？木村さん。

木村さん

僕は結構賛成です。

丹治地区幹事

そういう意見あっていいと思うんですよね。  
我々がわからない、あれで。

木村さん

去年の終わりぐらいから出席率がだんだん悪くって、  
それで、インターネットで何かやる方法はないのか、  
議論がちょっとあったんですよね。  
それでEクラブの存在を知ってみると、その時のなんか  
何か文章を読んで、何文字以上書かないと、  
出席扱いにならない、みたいなことをちょっと読んだんですけど。  
僕「これでいいんじゃないんですか」と思ったんですけど。  
周りは結構反対。

丹治地区幹事

Eクラブって、あんまり知らないんですけど、  
どういう形でやるんですか？

木村さん

通常だと会長が何か話す代わりに文章があるんですね。

今日のなんとか、とか。  
それを読んで、その感想をメールで送って、  
あとでその時の出席の会費をクレジットかなにかで払うというシステム。

丹治地区幹事

そこでパソコンを立ち上げて、  
そこでやりとりするんじゃないんですか？  
私のイメージだと、パソコンを立ち上げて、  
そこに会長さんが出てきてそこでやりとりのかな。

木村さん

そういうものではないです。  
会長が、書いた文章があって。  
その説明見ると会長の挨拶だか、文章があって、  
それを読んだ感想を書いて、登録をして、お金を払う。  
みたいな感じですね。  
それはそれでアリだな、と思ってましたけど、  
たまたま違う用事で東京・大宮に来た時に、  
その時に東京のロータリークラブの人がいて、  
そこも60人ぐらいの会みたいなんですけども、  
若い人は使ってる、って言ってましたね。  
やっぱり使っている人いるんだな、と。



丹治地区幹事

Eクラブじゃなくて、普通のクラブなんですか？

木村さん

その人は東京のロータリーの欠席をするから  
Eクラブでメーキャップするって言ってました。  
まあ、僕は、そういうのは賛成かな。

丹治地区幹事

どうですか？市川さん。

市川さん

目的の会員同士の懇親ということを考えると、  
会わないというのはどうかな、と思うんですよね。  
出席率が低いのはしょうがない。  
どっかでは会ってほしい。それはイベントでも構わないし、  
夜の例会でも構わないんだけども、

例会に出られないんだったら、  
どっかでは会員同士が会う機会がないと。  
会長の挨拶読んで、返事出すのは、  
例会のメーキャップとしてはいいかもしれないけど、  
本来の趣旨からちょっとズレてるんじゃないかと。  
なんか、そんな気がしますよね。  
やっぱり会員同士の懇親っていうのがひとつの  
重要な目的だと思うので、それが達成できていない。



#### 丹治地区幹事

例えば、大学の通信教育なんかでも  
やりとりはしますけども、年に1回はスクーリングみたいな形で、  
実際集めてやりますよね。Eクラブも例えば、月に1回は会うけど、  
あとはメールでのやりとか、そういうことでしょうか。

#### 市川さん

それぞれ。必ず会う機会をムリのない時間帯、  
ムリのない回数でどう作るかでってことですね。  
全部コンテンツ上でってことはないと思うんですよね。

#### 丹治地区幹事

これから、どういうふうになっていくのかね、  
私どももわからないんですけども。  
そういう、もしEクラブなんか、近くにあったとしたら、  
加入したいと思いませんか？  
小野塚さん、どう？

#### 小野塚さん

私はしないですね。  
人に会いに行くっていう目的でやって来るものあるんで、  
それに対して、意見を投げかけるとか、だけの交流では物足りない  
とかあるんで。わざわざ入ることはない、ような気がします。  
どうしようもない手段としてはアリかな、と思いますけど。

#### 丹治地区幹事

いろいろ、実際クラブに入ってね、  
感じたこととか、いろいろ語ってもらったんですけど。  
じゃあ今度はプラスなことを語ってもらいたいんですけど、  
入って良かったな、っていう経験、  
皆さんいくつかお持ちだと思えますよ。  
直接的には仕事に役立ったっていうのもあるだろうし、

親友と呼べるような友達ができ、とか、  
すごく楽しかった、とか。  
いろんなことあるかと思うんですけど。  
良かったな、と思うこと。

建部さん

僕はどっちかという、まあ良かったな、という感じですね。

入ってみんなの顔を見て、お互いの連帯感を持って、  
意思の疎通をしながら、相手を見ながら、  
いろいろ意見交換してるということですね。  
それからロータリーの中の4つのテストとか、  
いろいろありますよね。

ああいうのをみんなで述べたり、  
僕は1週間に1回、反省の気持ちでね、  
実際自分がどうなってんのかな、というチェックをし  
ながらやっています。

それから握手会ですね。握手した感じで「ああ、連帯があるな」とか、  
相手もそういう気持ち持ってるな、とか  
そういう心を非常に感じるんですよね。

それからあと、卓話ですよ。

異業種の卓話もあるし、会員同士の卓話もありますけれども、  
非常にそういう意味で、ぼくらには聞こえてこない情報が、  
結構得られます。僕は入って良かったし、入った以上は会のために、  
一生懸命やっていきたいな、ってことで、  
ある意味では積極的にやっているんですけど。

糸魚川の場合、主体的に動いている方は5年から10年の人たちが中心で  
動いてるんですよ。この間約50年ぐらいの

木島さんという方が、この6月に亡くなったんですけど、

その人なんかは、ホントに意見なんかは言わないんだけど、

いつも定ポジションに座って、我々を見守っている。

言いたいこともあるんだろうけど、

年齢的にも、意見はあんまり出なかったけれど  
も、

見ているだけで、なんか、伝統を僕らが  
守っていかなくちゃいかな、という気持ちにな  
ります。

(10月号に続く)



…10月号はもっと本音で語られています。

乞うご期待！！

## 新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新発田	石田 浩久	2017. 7. 31	(株)ユアテック下越営業所	電気工事業
村上	齋藤 和彦	2017. 7. 13	村上信用金庫	金融業
村上	齋藤 和也	2017. 7. 13	東北電力(株)村上営業所	電気事業
水原	加藤 宏隆	2017. 7. 7	有限会社 水原衛生社	一般廃棄物処理収集
新発田城南	小林 太吉	2017. 8. 24	(有)小林電気商会	電気器具販売業
新発田城南	嶋田 邦雄	2017. 8. 24	(株)サクラフーズ	食堂
新発田城南	渡邊 政幸	2017. 8. 24	(株)ことぶき	総合建設業
中条胎内	桐生 隆幸	2017. 7. 28	桐生建築工業	建築業
中条胎内	高松 雅子	2017. 7. 28	スナック 雅	スナック
新潟	東方 幸雄	2017. 7. 4	(株)TOSYS	電気通信建設
新潟	矢野 達史	2017. 7. 4	日本放送協会	全国放送
新潟	渡辺 雅美	2017. 7. 4	(株)北越銀行	短期金融
新潟東	松本 光昭	2017. 7. 21	第一建設工業(株)	総合建設業
新潟南	高橋 秀彰	2017. 7. 5	(株)大建建設	建築・土木
新潟南	長崎 寿秀	2017. 7. 12	真宗大谷派 長崎山 真宗寺	宗教
新潟南	大澤 博之	2017. 7. 26	(有)テイラー・スコット	紳士服 製造・販売
新潟西	姉崎 健	2017. 7. 13	(株)アンサ	運送業
新津中央	田中 宥司	2017. 7. 4	新潟薬科大学	教育
三条	小林 卓哉	2017. 7. 5	(株)小林洋紙店	紙類卸販売
三条	小林 敏信	2017. 7. 5	越後農匠 小林孫左衛門	農業
三条	牧 利幸	2017. 7. 12	(株)第四銀行 三条支店	銀行
柏崎	鈴木 正彦	2017. 7. 12	東北電力(株)柏崎営業所	配電事業
柏崎	大平 勝弘	2017. 7. 19	日立 GE エネルギー・インフラ(株)柏崎刈羽現地事務所	発電所建設
長岡東	ポーイド富美子	2017. 8. 9	(株)モイスティーヌ新潟販売	化粧品 卸業
長岡東	本田 浩太	2017. 8. 9	共栄建設株式会社	総合建設業
柏崎東	薄波 薫	2017. 7. 10	(株)植木機工	仮設機材リース
柏崎東	玉井 俊光	2017. 7. 24	東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所	電気事業
長岡西	矢野 秀樹	2017. 7. 6	株式会社 カンコー 広告部	屋外広告
柏崎中央	大川 治孝	2017. 7. 4	東電不動産(株)新潟支社	不動産業
小千谷	桜庭 武	2017. 7. 13	JR 東日本信濃川発電所	鉄道
十日町北	玉木 学	2017. 7. 5	東北電力(株) 十日町営業所	電力供給
高田	齋藤 俊幸	2017. 7. 1	上越ケーブルビジョン(株)	有線テレビジョン放送
高田	小池 猛紀	2017. 7. 1	(株)上越タイムス社	新聞発行
高田	久保 克文	2017. 7. 1	アートホテル上越	シティホテル
高田	笹川 裕	2017. 7. 1	(株)ユアテック 上越営業所	電気工事
高田	小林 晴彦	2017. 7. 1	(株)八十二銀行 高田支店	産業銀行
直江津	笠井 啓輔	2017. 7. 1	中部電力(株)上越火力発電所	電気事業

## 9 月地区の予定 【基本的教育と識字率向上月間】

2017 年 9 月		地区主要行事	会場
2	(土)	第 2 分区 IM (橋本 G 補佐・新潟北 RC)	万代シルバーホテル
2	(土)	第 4 分区 IM (鈴木 G 補佐・三条南 RC)	ジオ・ワールドVIP
3~4	(日)~(月)	米山記念奨学生親睦交流会	村上方面
4~5	(月)~(火)	第 1 回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪
6	(水)	2018-2019 年度の地区研修リーダーのためのセミナー (DTLS)	グランドプリンスホテル新高輪
9	(土)	第 5 分区 IM (品田 G 補佐・柏崎東 RC)	柏崎市民プラザ 海のホール
10	(日)	第 6 分区 IM (星野 G 補佐・雪国魚沼 RC)	ホテル坂戸城
16	(土)	第 7 分区 IM (藤巻 G 補佐・糸魚川 RC)	ホテル国富アネックス
23	(土)	第 14 回ロータリー韓日親善会議	グランドハイアット・ソウル
27	(水)	新保年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会	紫雲ゴルフ倶楽部
30	(土)	第 1 分区 IM (大平 G 補佐・中条胎内 RC)	中条グランドホテル

## 9 月ガバナー公式訪問日程表

2017 年 9 月	ガバナー公式訪問	分区
4	(月) 新発田	1
6	(水) 佐渡南	2
7	(木) 佐渡	2
12	(火) 栃尾	5
13	(水) 雪国魚沼	6
13	(水) 越後魚沼	6
14	(木) 三条東	4

2017 年 9 月	ガバナー公式訪問	分区
19	(火) 柏崎中央	5
20	(水) 長岡東	5
21	(木) 新発田城南	1
25	(月) 高田東	7
28	(木) 糸魚川	7
29	(金) 糸魚川中央	7

第2560地区 2017-18年度 7月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	7月末会員数	うち女性	増減
<b>第1分區(9クラブ)</b>		86.98	364	373	36	9
新発田	4	95.77	93	97	0	4
村上	3	85.96	37	39	9	2
水原	3	70.27	27	27	0	0
中条	4	91.37	34	35	3	1
新発田城南	4	85.33	41	41	4	0
豊栄	4	89.42	26	26	3	0
新発田中央	4	88.70	45	45	4	0
中条胎内	4	90.33	33	35	7	2
村上岩船	4	85.70	28	28	6	0
<b>第2分區(9クラブ)</b>		83.15	441	449	21	8
新潟	4	92.42	86	88	0	2
新潟東	4	90.58	62	63	9	1
新潟南	4	78.76	99	102	2	3
佐渡	4	85.70	7	7	0	0
新潟西	4	83.74	41	41	1	0
佐渡南	4	94.90	41	41	4	0
新潟北	4	62.09	43	43	0	0
新潟中央	4	85.42	24	24	0	0
新潟万代	4	74.72	38	40	5	2
<b>第3分區(6クラブ)</b>		76.63	122	123	7	1
新津	4	72.67	18	18	0	0
村松	4	83.40	11	11	0	0
五泉	4	77.02	17	17	3	0
白根	4	90.00	37	37	2	0
新津中央	4	84.17	29	30	1	1
阿賀野川ライン	4	52.50	10	10	1	0
<b>第4分區(11クラブ)</b>		76.94	369	373	21	4
三条	4	86.59	57	60	0	3
燕	4	58.24	33	33	1	0
加茂	4	84.48	29	29	4	0
三条南	3	92.60	48	48	2	0
分水	4	65.04	32	32	3	0
見附	4	70.00	20	20	1	0
吉田	3	82.82	33	33	2	0
三条北	4	80.77	64	65	2	1
巻	4	87.80	14	14	0	0
田上あじさい	4	67.80	7	7	1	0
三条東	4	70.16	32	32	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	7月末会員数	うち女性	増減
<b>第5分區(7クラブ)</b>		88.09	314	322	18	8
長岡	4	86.72	39	42	1	3
柏崎	3	79.85	45	46	0	1
長岡東	4	90.50	66	68	4	2
柏崎東	4	90.69	50	51	0	1
栃尾	4	95.89	21	21	0	0
長岡西	4	88.19	57	58	5	1
柏崎中央	3	84.81	36	36	8	0
<b>第6分區(6クラブ)</b>		84.11	154	156	11	2
十日町	4	96.31	34	34	3	0
小千谷	4	75.59	38	39	5	1
雪国魚沼	4	72.70	25	25	2	0
十日町北	3	97.22	23	24	0	1
津南	4	84.26	27	27	1	0
越後魚沼	4	78.56	7	7	0	0
<b>第7分區(8クラブ)</b>		80.02	320	320	27	0
高田	4	97.86	66	66	0	0
直江津	4	84.87	48	48	3	0
新井	4	75.89	29	29	3	0
糸魚川	4	65.38	42	41	3	-1
高田東	4	75.66	38	38	3	0
糸魚川中央	4	81.62	34	34	0	0
頸北	4	85.70	14	15	1	1
越後春日山	4	73.20	49	49	14	0

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,084 人
7月末 会員数	2,116 人
女性会員数	141 人
純増減会員数	32 人
当月平均出席率	82.12 %



新しい年度が始まりもう2ヶ月。私の仕事はゾーン1、2、3の各種コーディネーターの皆様と力を合わせて会員増強のために動くことです。GEの皆様をお願いしたい事を以下にまとめました。

- ①名門クラブと歴史あるクラブの皆様はロータリーの矜持を維持し、よりクラブ運営を強化して頂くこと。
  - ②いつの間にか(多分ここ10～15年の間に)30人未満のクラブになってしまった我がクラブを町おこしの中心クラブになっていただくためにクラブのビジョン声明を3年以内で作っていただくこと。
  - ③分区(地域の線引きによる区分)を越えて1分区あるいは2分区から3分区で一つのクラブを新しく作っていただくこと。
- 等を提案申し上げたいと思います。2017-18年度は準備期間、2018-19年度、20年度は立ち上げ期として用意されることをお勧めします。日本のメンバー10万人の復活を夢見ています。

国際ロータリー理事 齋藤 直美



### ロータリーの中核的価値観について

世界の変化にロータリーが追いついていく必要を認めたのは、2015年10月のRI理事会・財団管理委員会でした。時の流れの速い現代社会では、ロータリーの競合団体が数多く作り出され、ロータリーの特色が薄れ、会員のメリット、価値を実感できなくなっています。再び他の団体と異なる輝ける団体で存続するためには、ビジョンを持ち続けることです。そして自分たちのアイデンティティであるロータリアン其々が持っている共通の価値観、すなわち親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップの5つの中核的価値観を意識して行動することで。

ロータリーが初めて創られたのはお互い正直に語り合える楽しい仲間を作ること、つまり親睦からでした。そして己の利益だけでなく、人に良いことをする、いわゆる利他の心が奉仕になりました。それは自分を律し、品格を高めることとなり、高潔性を生み出しました。いろんな会員が増えることで寛容を必要として、多様性を育みました。ロータリアン一人ひとりが職業・地域社会のリーダーであることの自覚が必要となってきました。しかしロータリーのリーダーシップは支配型(牽引型)リーダーシップではなく、目標に向かって進む仲間を応援することです。管理・命令といった上から目線で指導する従来のリーダーと異なり、相手に対する思いやりや奉仕の精神を常に置くことが特徴です。トップダウンの一方通行でなく対話型のリーダーシップです。これをサーバント・リーダーと呼ばれています。利他を意識し、組織を己の力で支配しようとするサーバント・リーダーは組織に強い絆をもたらします。ロータリーならず一般企業でも新しいリーダー像として信頼され用いられています。この名称を作ったアメリカのロバート・グリーンリーフは「リーダーである人はまず相手に奉仕し、その後相手を導く」と著書にサーバント・リーダーについて書き残しています。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中 正規

### ロータリーの 中核的価値観

- 奉仕 (Service)
- 親睦 (Fellowship)
- 多様性 (Diversity)
- 高潔性 (Integrity)
- リーダーシップ (Leadership)



第2780地区横須賀RC「10,000メートルプロムナードグリーン作戦」に参加した横須賀市を拠点とした6ロータリークラブ、ローターアクト、ボーイスカウト、6高校からの621名の参加者

### 行動をもって「公共イメージと認知度の向上」を推進しましょう

イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの「行動」によって答えましょう」と述べました。ロータリーの「公共イメージと認知度の向上」への取り組みにおいても、「ロータリアンの行動する姿」を見てもらうのが一番効果的であると実感しております。

私の所属する第2780地区横須賀ロータリークラブ(神奈川県)では、10年前より毎年「10,000メートルプロムナードグリーン作戦」を開催しています。地域の清掃ボランティア活動ですが、今年は3月12日の日曜日に実施。横須賀市に拠点を置く6つのロータリークラブ、ローターアクト、ボーイスカウト、6高校から総勢621名の参加がございました。この621名が6つの出発点に別れて一斉にスタート、清掃活動をしながら市民と触れ合いながらゴール地点である横須賀港湾岸緑地である「海辺つり公園」を目指しました。清掃活動をする私達の行動を、昇り旗のロータリーの文字を、キャップについたロータリーのロゴをいったい、何千人、何万人の市民が見たことでしょうか。

私自身もこの活動をしていて、多くの市民の方と触れ合ったり、挨拶をしたり、そして人の目に触れている事を実感致します。人間の五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)の内、最も情報摂取量が多いのは全体の87%を占める「視覚」なのです。「ロレックス」は世界的一流の時計ブランドですが、「ロレックス」というと皆様はすぐに「腕時計」をイメージされるでしょう。

何故でしょうか? 腕時計は「行動」する人の腕にあるからです。つまり「行動性」があるので、他人の目に触れる機会が多いのです。一方、壁掛け時計は自宅の壁に固定されているため、他人の目に触れる機会が少ないのです。私達は行動する事によって、そしてその姿をより多くの人に見てもらう事によって「公共イメージと認知度の向上」を推進して参りたいと存じます。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺 治夫



## 寄付金速報 — 財団50周年度は順調な滑り出し —

2017-18年度の最初の月となる7月の寄付金は約2億1,500万円、前年度に比べて1.6%増（普通寄付金：3.9%増、特別寄付金：4.6%減）となりました。普通寄付金の納入が例年よりも早かったようです。寄付者の皆様に厚く御礼申

上げます。

2017-18年度は当会財団設立50周年です。今後とも世界に誇る米山奨学事業の継続と発展のため、更なるご支援を賜りますようよろしくお願いたします。

## 来春採用の奨学生募集がスタート

2018年4月の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で534（前年度532校）。指定校からの被推薦者数は1,733人（前年度1,748人）で、この中から新規奨学生574人\*1が選ばれます。\*1 継続奨学生からの辞退者発生により変動有  
地区奨励奨学金（大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象）を導入した地区は12地区で、指定校は23校、そのうち初指定は2校でした。地区独自の選考基準（地区選考の目安）を提示

したのは、34地区中30地区で、最も多かった要望は「被推薦者の国籍が偏らないように配慮してほしい」、次いで「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。

募集要項・申込書と指定校の発表および全指定校へのメール案内は、常務理事会承認後、8月2日に行いました。

※2018学年度採用の指定校名や募集要項・申込書式は当会ホームページにて公開しています。

## 江ノ島海岸清掃活動を実施 — 第2780地区米山学友会 —

第2780地区（神奈川県横浜市・川崎市以外）米山学友会主催の江ノ島海岸クリーンキャンペーンが7月16日に開催され、米山奨学生・学友のほか、大谷新一郎ガバナーをはじめとする同地区ロータリアン、インターアクターなど、例年の2倍の220人が参加。海岸清掃後はバーベキューを楽しみ、交流を深めました。海水浴客からお礼の言葉と共に、ロータリークラブについて尋ねられるなど、ロータリーの広報にも繋がる活動となりました。

4月に同学友会の会長に就任したばかりの宋

イルデ  
一大さん（韓国／2015-17／相模原大野RC）は、新体制で主催した初のイベントを終えて、「奨学生たちに日本での思い出をつくらせてあげることができて良かった。今後、研修旅行や国際交流会なども予定しているので、奨学生自身が活動を楽しめるように、学友会としても力を尽くしていきたい」と、抱負を語りました。



## 50周年記念式典の登録受付を開始

前号でご案内した通り、当会の財団設立50周年を記念したフォーラムと祝賀会を来年2月4日に開催します。多くの皆様のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

【日時】 2018年2月4日(日)

第1部 フォーラム 10:30~12:15 「世界に平和の種をまく ~米山記念奨学事業、未来への提言~」

第2部 祝賀会 12:30~14:30

【会場】 グランドニッコー東京 台場

【登録料】 ロータリアンとご家族……10,000円/人

学友・奨学生とご家族……5,000円/人

上記以外の方……10,000円/人

【申込締切】 2017年9月30日(土)

【送金締切】 2017年10月10日(火)

詳細は当会HPの「財団設立50周年特設ページ」をご覧の上、お早めにお申し込みください。

[www.rotary-yoneyama.or.jp/50th#shikiten](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/50th#shikiten) ←登録用紙は、サイトからダウンロードできます。

### 50周年記念誌 好評頒布中!

これを読めば、よねやまの歴史のすべてがわかります!

オールカラー/B5版/128ページ

1冊1,800円(送料込)

詳細は当会HPから!

(記念式典登録料と一緒にお振り込みいただけます)

## 台湾学友会による日本人対象奨学金 第9期生が決定

台湾米山学友会(正式名称:(社) 中華民國扶輪米山会)による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」の第9期生が決定しました。6月末の締切までに13人の応募があり、台湾米山学友会理事会による厳正な選考が行われました。今年度は、台湾のロータリアン

から大口寄付があったことから、通常2人のところ、4人が採用されました。合格者には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル(約91,000円)が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



邊 美鈴さん

2015年から国立台湾師範大学国際社会学部に留学中。将来はグローバル社会に通用する人材として、語学力を生かせる仕事に就くことを希望している。



平良 佑司さん

国立政治大学大学院の国際MBAコースに在籍。国際的な環境の中、会計学・統計学・リーダーシップ論などを学ぶ。卒業後は日台での起業を目指す。



村上 優さん

国立台湾大学大学院で人類学専攻。日本統治時代の台湾原住民を研究テーマとし、長期フィールドワークを行いながら論文執筆を目指す。



彦田 恵里さん

9月より2年間、国立台湾大学大学院修士課程で生物資源学・農学を学ぶ。日本と台湾の村づくりの差異に着目し、その要因を探る。

## 【訃報】 評議員 奥周盛氏(第2500地区) 逝去

評議員の奥周盛氏(第2500地区)が7月19日にご逝去されました。享年66歳でした。

奥氏は、2014-15年度の国際ロータリー第

2500地区ガバナーで、2015年9月から当会評議員に就任されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成 29 年 8 月 25 日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 大塚信郎

拝啓

残暑の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。  
このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。  
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

## 文庫通信 (360号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 新着の文献から

- ◎「職業奉仕とロータリーの魅力」 大迫三郎 D.2730 2016 30p
  - ◎「ロータリーの根幹は『ロータリーの目的』が規定する職業奉仕である」  
D.2760 2017 90p
  - ◎「ロータリーって何だろうークラブ奉仕を中心に」 松山R.C. 2012 73p
  - ◎「新会員推薦の手引き」 大阪R.C. 2013 9・23p
  - ◎「ロータリーのしおり」 明石西R.C. 2014 22p
  - ◎「シェルドンなきロータリー」 田中毅 源流の会 2017 6p  
(シェルドンの森を巡る旅)
  - ◎「ロータリーの正義(Ⅲ)」 田淵水作夫 2017 55p
- 〔上記申込先：ロータリー文庫〕
- ◎「ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ」 ロータリー米山記念奨学会  
2017 127p  
〔申込先：ロータリー米山記念奨学会 TEL(03)3434-8681〕
  - ◎「ロータリー情報ハンドブック(改訂第2版)」 ロータリー情報研究会  
2017 821p 〔申込先：ロータリー情報研究会 FAX(050)3730-5737〕

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日